



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校

2025年9月26日第16号(119号)

ーたくましく生きる子どもの育成ー

1年 家庭教育学級 移動水族館 開催 ～たくさん海の生き物と触れ合いました～

9月18日（木）、1年生の家庭教育学級を開催しました。今回は、銚子海洋研究所の方々を講師に、「海の生き物キーホルダー作り」と海洋研究所の方が持ってきた海の生き物による「移動水族館」での触れ合う活動を行いました。

最初は、銚子海洋研究所の主な活動やその意義についての講話がありました。その中では、研究所の活動の取組についての具体的な説明と子供たちへの海の環境を守るために啓発を図るお話をありました。その後、担任が用意したプラスチック板を使い「海の生き物キーホルダー作り」をするグループと水族館を見学し生き物と触れ合い活動をするグループに分かれ、活動しました。

海の生き物（ヒトデやヤドカリ、トチザメ、イセエビ等）との触れ合いで、進んでヒトデやトチザメに触って触れ合う子もいれば、やや躊躇する子もいました。また自作のキーホルダーもしっかりと全員が仕上げることができ、充実した家庭教育学級になりました。



海の生き物との触れ合い



海の環境保全活動の講話



トチザメ



イセエビ

ジャングルジム 大盛況！



150周年記念事業のひとつであるジャングルジムが夏休み中に完成し、9月から使用できるようになりました。

9月に入ってからも猛暑が続き、熱中症アラートの発令のおかげで、外遊び日ができない状況が続きました。しかし今週になり暑さも収まってきて、ジャングルジムの使用が可能になりました。休み時間になるとジャングルジムに子供たちが集まって、楽しそうに遊ぶ姿が見られるようになりました。ルールを守って安全に楽しく使用してほしいと思います。

避難訓練実施 ～いざという時のために～



9月12日(金)、地震発生による火事を想定した避難訓練を行いました。

この日の訓練は、子供たちには事前に知らせていないものでした。さらに、授業が終わって子供たちが外に遊びに出て数分経ってからの実施だったので、子供たちも避難の放送が流れた時には、とても驚いている様子でした。しかし、過去の避難の仕方を思い出し、「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」の約束をしっかりと守り、突然の訓練にも慌てずに行動しました。避難の原則である「自分の命は自分で守る」を実践で生かすことができました。この気持ちを常に持ち続け、いざという時に適切な行動がとれるようになってほしいと思います。